

株主インフォメーション

| | |
|-----------------|---|
| 事業年度 | 毎年11月1日から翌年10月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年1月に開催 |
| 基準日 | |
| 定時株主総会 | 毎年10月31日 |
| 期末配当金 | 毎年10月31日 |
| 中間配当金 | 毎年4月30日 |
| | そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (郵便物送付先) | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | TEL (通話料無料) 0120-782-031 |
| (インターネットページURL) | http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html |

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の「特別口座について」をご確認ください。

【特別口座について】
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、三菱UFJ信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。上記株主名簿管理人とはご照会先及び住所変更等のお届出先が異なりますのでご注意ください。
<特別口座に関するご照会先>
(郵便物送付先) 〒541-8502 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
(電話照会先) TEL (通話料無料) 0120-094-777
インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

公告方法 | 電子公告 <http://www.kura-corporo.co.jp>
ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

当社の貸借対照表、損益計算書は、EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。

上場証券取引所 | 株式会社東京証券取引所 市場第一部

株主優待のお知らせ

毎年4月30日現在の株主名簿に記録された株主様に対し、年1回くら寿司全店にて使用できるお食事券を贈呈します。(200株以上の株主様にはご希望により、商品詰合せセットに交換。)

100株以上・・・食事券(1,500円)
200株以上・・・食事券(3,000円) もしくは3,000円相当の商品詰合せセット
1,000株以上・・・食事券(5,000円) もしくは5,000円相当の商品詰合せセット
2,000株以上・・・食事券(10,000円) もしくは10,000円相当の商品詰合せセット
※毎年の中間報告書の発送に合わせて7月中旬の発送を予定しています。

株式会社 くらコーポレーション
www.kura-corporo.co.jp

第17期 年次報告書

平成23年11月1日～平成24年10月31日



石津店 平成24年6月開店

KURA CORPORATION

海外での出店を促進し、日本の食文化を世界に広げる。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、第17期における事業の概況をご報告申し上げます。

平成25年1月

代表取締役社長 田中邦彦



当事業年度におけるわが国経済は、東日本大震災の復興が進み、緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、長期化する円高や欧州の債務危機に加え、中国をはじめとする新興国の成長鈍化により、世界経済の停滞懸念が高まり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

外食産業におきましては、国内景気の悪化により消費者の雇用・所得環境が厳しさを増すなか、顧客獲得のための外食企業間の競争も激しさを増し、またコンビニエンスストアの商品をはじめとする消費者の中食・内食志向の高まりによる影響を受ける等、当社を取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況で推移しております。

このように、消費者が商品価値と価格を厳しく吟味し、選別消費を行う状況下におきましては、より安心・安全かつ納得感・満足感の高い商品提供が求められます。当社は、長年にわたる試行錯誤の結果、当事業年度ようやく四大添加物不使用の「7種の魚介醤油らーめん」を完成させ、平成24年11月に全国発売いたしました。大手回

転すしチェーンとして初めてとなる寿司と相性のよい風味の「ラーメン」投入により、同業他社との差別化を一步進めることとなり、当事業年度に導入いたしました寿司キャップ「鮮度くん」同様、お客様のご支持を得られるものと考えております。

また、当社は経済・金融の変化に備え、安定的な原材料の調達及び継続的な設備投資を行うため、財務基盤の強化に努めてまいりました。当事業年度末の自己資本比率は59.1%となり、実質無借金（現預金の額が有利子負債の額を上回ること）で運営しております。回転すし業界の中では際立って良好な財務内容を背景に、今後とも日本固有の食文化である「寿司」の普及に貢献してまいります。

安心・安全、安価で美味しいものを求める消費者のニーズは、当社の掲げる企業理念「食の戦前回帰」にマッチするものであると考え、顧客来店の動機付けを図る様々な取り組みを行ってまいりました。

商品開発面では、地域漁協の活性化を願い、ご当地食材への取り組みを実施しておりますが、その一環として、平成24年4月には愛

媛県の特産物である「伊予かん」を食べて育った宇和島産「みかんぶり」を全店で販売いたしました。プリ特有の臭みがなく、ほのかに香る爽やかな柑橘系の風味をお楽しみいただきました。また、7月から9月にかけてテレビで人気の料理人・川越達也シェフとのコラボレーションを実現し、オリジナル商品を開発、提供いたしました。

販売促進面では、人気寿司ネタ1・2位の「まぐろ」・「サーモン」の特上ネタをご提供するフェアを毎月実施するとともに、携帯会員向けに割引クーポンを各月メール配信いたしました。さらに、平成24年3月には「名探偵コナン」、5月には「イナズマイレブン」、6月と8月には「ポケモン」とのタイアップキャンペーンを実施いたしました。

また、店舗開発につきましては、大分県、高知県、徳島県、山口県にそれぞれ初進出を果たしたのをはじめ、西日本地区で18店舗、東日本地区で6店舗の計24店舗を新規出店し、1店舗を閉鎖した結果、当事業年度末の店舗数は、全て直営で308店舗（「無添蔵」4店舗を含む）となりました。引き続き財務の健全性・安定性を維持しつつ、有望立地への出店を進めてまいります。

以上の結果、当事業年度の主要な業績は、右記のグラフのとおりとなりました。

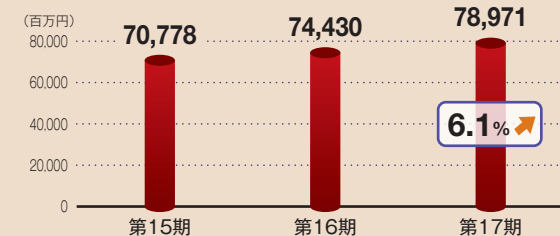
また、米国子会社「Kula Sushi USA, Inc.」につきましては、米国西海岸カリフォルニア州におきまして平成24年1月に第3号店リトルトーキョー店を開店したのをはじめ、3月ラグナヒルズ店、4月トランス店、5月ブレア店、8月にはランチョクカモンガ店を開店し、計7店舗を運営しております。引き続き米国西海岸地区において、出店に向け準備を進めてまいります。

今後とも企業理念である「食の戦前回帰」を貫き通すことにより、皆様の食生活の改善に寄与することはもとより、日本の食文化の代表である「寿司」を通して、世界の人々の幸せに貢献できる企業となるよう邁進してまいります。

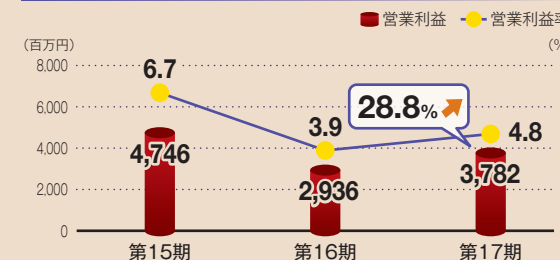
株主の皆様には、一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

◆財務ハイライト

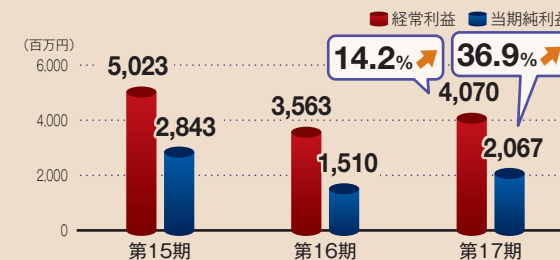
◆売上高



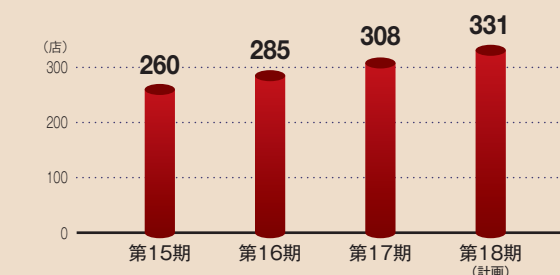
◆営業利益 / 営業利益率



◆経常利益 / 当期純利益



◆期末店舗数



「無添くら寿司」は、古き良き
【食の戦前回帰】を目指しています。

ほこもの美味しさは
昔の日本にあっまた。
それは無添の美味しさ。



川越シェフとコラボしました!

くら寿司は、テレビでおなじみの川越達也シェフとコラボレーションしました。

川越シェフプロデュースのもと、オリジナル商品を製作。濃厚な特製チーズソースを使った第1弾の「あぶりえびWチーズ」を皮切りに、イタリアン風味の第2弾「完熟トマトの釜玉うどん」、チョコとイチゴの風味が溶け合う第3弾「ベリーショコラロール」をご提供し、お客様にお楽しみ頂きました。

川越シェフ出演のテレビCMと相まって、新たなくら寿司を皆様にお見せできたと考えております。今後とも皆様楽しんでいただけるようなコラボ企画を実施してまいります。ご期待下さいませ。



くらの高速レーン!

くら寿司では、新装置「高速レーン」を続々と導入しています。「高速レーン」は、これまでの「注文レーン」を改良し、さらに進化させたものです。お寿司はもちろん、うどんや赤だしなどの汁物や茶わん蒸しなども瞬時にお届けし、お待たせしません。また、ご注文頂くタッチパネルと連動するようになっております。さらにご注文品をお届けした後、ボタンを押してベルトを戻していただく手間が不要です。

新規オープン店舗や改装店舗で、導入を進めております。ご注文品を素早くお届けする「高速レーン」、ぜひご体感下さい。



「魚介醤油らーめん」完成!

くら寿司では、長年にわたる試行錯誤のうえ、全食材無添加の、「7種の魚介醤油らーめん」を完成させました。

大手回転すしチェーンとして初めてとなる「ラーメン」投入ですが、他では味わえない一品です。

だしは魚介だけでも7種類（昆布、かつお、さば、うるめいわし、片口いわし、ほたて、ぐち）に及び、毎日お店で丁寧にだしをとっております。また、鶏がら醤油スープの醤油はもちろん、にほし油までこだわっております。

そしてくら寿司は創業以来「四大添加物不使用」を貫いてきました。この「7種の魚介醤油らーめん」もちろん、「四大添加物不使用」です。お子様からお年寄りまで、安心してお召し上がり頂けます。

お近くの店舗で、ぜひともご賞味下さいませ。



米国6、7号店オープン!

米国出店をさらに進めました。平成24年5月16日にカリフォルニア州ブレア（6号店）に、8月1日に同ランチョクカモンガ（7号店）に、それぞれ店舗をオープンしております。

1皿2ドルのお寿司（ロール寿司、手巻き寿司等）をはじめ、一品もの小鉢、天ぷら、うどんなどを提供し、ご好評を頂いております。日本の「くら寿司」同様、全品四大添加物不使用です。

また新聞・雑誌への広告、クーポン配布などの販促活動を通じ、現地の人々への浸透も進みつつあります。

当社の取り組む「食の安心・安全」を、世界に発信し続けるべく、引き続き注力してまいります。



ブレア店



ランチョクカモンガ店



「鮮度くん」がNSF規格を取得!

当社寿司キャップ「鮮度くん」が「米国規格ANSI/NSF2」でNSFインターナショナルより認証を取得しました。

NSFインターナショナルは、公衆安全衛生の分野で国際的に認められた第三者認証機関で、過去50年間にわたり、各業界、政府関係者及び関係団体などと協力して、公衆安全衛生に係わる規格を制定し、これらの規格をもとに製品認証業務を行っております。

当社は、今回「鮮度くん」の世界進出を視野に入れ、認証を受けるべく申請致しました。

その結果、「鮮度くん」はNSFインターナショナルから平成24年4月に正式に認証取得することができました。

国際的に認められた「鮮度くん」で、ますます「安心・安全な」お食事をお楽しみください。



財務諸表

◆貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

| | 当期末 平成24年10月31日現在 | 前期末 平成23年10月31日現在 |
|--------------|----------------------|----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | [6,394,780] | [5,248,420] |
| 固定資産 | [26,949,833] | [25,382,456] |
| 有形固定資産 | (17,468,296) | (16,385,642) |
| 無形固定資産 | (1,041,337) | (902,226) |
| 投資その他の資産 | (8,440,199) | (8,094,586) |
| 資産合計 | 33,344,613 | 30,630,876 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | [8,810,281] | [7,727,058] |
| 固定負債 | [4,825,616] | [5,014,567] |
| 負債合計 | 13,635,897 | 12,741,626 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | [19,708,716] | [17,889,250] |
| 純資産合計 | 19,708,716 | 17,889,250 |
| 負債及び純資産合計 | 33,344,613 | 30,630,876 |

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT ① 売上高

売上高は789億71百万円と、前期比6.1%増となりましたが、期初予想を1.3ポイント下回る結果となりました。既存店売上高は前期比97.2%となりましたが、大分県、高知県、徳島県、山口県に初進出を果たす等、24店舗の新規出店をいたしました結果、前期比45億40百万円の売上増となりました。

POINT ② 経常利益

経常利益は40億70百万円と、前期比14.2%増となりました。対売上高比率では、前期よりも、販売費及び一般管理費が0.3ポイント増加、営業外収支が0.5ポイント減少した一方で、売上原価が1.2ポイント減少したため、経常利益率は、5.2%と前期比0.4ポイント上回る結果となりました。

POINT ③ 当期純利益

当期純利益は20億67百万円と、前期比36.9%増となりました。これは特別損失が前期比5億58百万円減少したこと等によるもので、その結果、当期純利益は前期より5億57百万円増加しました。

◆キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

| | 当 期 自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日 | 前 期 自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日 |
|-------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 5,982,999 | 3,751,160 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △ 3,428,150 | △ 3,649,578 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △ 1,721,978 | △ 227,422 |
| 現金及び現金同等物に 係る換算差額 | △ 5,428 | 0 |
| 現金及び現金同等物の 増減額（△は減少） | 827,441 | △ 125,840 |
| 現金及び現金同等物の 期首残高 | 4,144,898 | 4,270,739 |
| 現金及び現金同等物の 期末残高 | 4,972,339 | 4,144,898 |

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

◆損益計算書（要旨）

（単位：千円）

| | 当 期 自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日 | 前 期 自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日 |
|--------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| ① 売上高 | 78,971,112 | 74,430,340 |
| 売上原価 | 36,165,816 | 34,975,788 |
| 売上総利益 | 42,805,296 | 39,454,551 |
| ④ 販売費及び一般管理費 | 39,023,276 | 36,518,391 |
| 営業利益 | 3,782,020 | 2,936,160 |
| 営業外収益 | 414,029 | 818,479 |
| 営業外費用 | 125,513 | 191,199 |
| ② 経常利益 | 4,070,536 | 3,563,440 |
| 特別利益 | 1,440 | — |
| ⑤ 特別損失 | 240,593 | 798,716 |
| 税引前当期純利益 | 3,831,383 | 2,764,724 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,803,000 | 1,428,000 |
| 法人税等調整額 | △ 39,509 | △ 173,462 |
| ③ 当期純利益 | 2,067,892 | 1,510,186 |

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT ④ 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費は、390億23百万円と前期比6.9%増加となりました。これは主に新規出店による減価償却費や賃借料を中心とした経費の増加及び電気料金の値上げによる水道光熱費の増加等によるものであり、対売上高販管費比率は49.4%と前期比0.3ポイントの上昇となりました。

POINT ⑤ 特別損失

特別損失は、減損損失1億85百万円、店舗閉鎖損失32百万円及び固定資産除却損22百万円の合計2億40百万円を計上し、前期比69.9%減少となりました。これは、前期の特殊要因として資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額や東日本大震災の災害による損失や災害義援金を計上していたものが、当期にはなくなったことが主な原因となっております。

◆株主資本等変動計算書（要旨）

（自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日）

（単位：千円）

| | 株主資本 | | | | | | | | | 純資産 合計 | |
|-----------------|-----------|-----------|-------------|-----------|----------|------------|-------------|------------|------------|------------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益 準備金 | 利益剰余金 | | | 自己 株式 | 株主資本 合計 | | |
| | | 資本 準備金 | 資本剰余金 合計 | | その他利益剰余金 | | 利益剰余金 合計 | | | | |
| 平成23年11月1日期首残高 | 2,005,329 | 2,334,384 | 2,334,384 | 83,675 | 10,599 | 11,840,000 | 1,615,261 | 13,549,536 | — | 17,889,250 | 17,889,250 |
| 事業年度中の変動額 | | | | | | | | | | | |
| 固定資産圧縮積立金の取崩 | | | | | △ 1,460 | | 1,460 | — | — | — | — |
| 別途積立金の積立 | | | | | | 1,200,000 | △ 1,200,000 | — | — | — | — |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △ 248,397 | △ 248,397 | △ 248,397 | △ 248,397 | △ 248,397 |
| 当期純利益 | | | | | | | 2,067,892 | 2,067,892 | | 2,067,892 | 2,067,892 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | | △ 29 | △ 29 | △ 29 |
| 事業年度中の変動額合計 | — | — | — | — | △ 1,460 | 1,200,000 | 620,955 | 1,819,494 | △ 29 | 1,819,465 | 1,819,465 |
| 平成24年10月31日期末残高 | 2,005,329 | 2,334,384 | 2,334,384 | 83,675 | 9,138 | 13,040,000 | 2,236,217 | 15,369,030 | △ 29 | 19,708,716 | 19,708,716 |

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

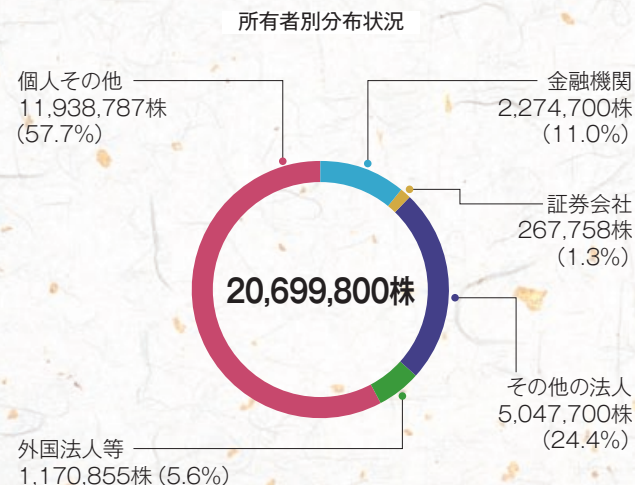
株式の状況 (平成24年10月31日現在)

- ◆発行可能株式総数 80,000,000株
- ◆発行済株式の総数 20,699,800株
- ◆株主数 20,346名
- ◆大株主 (上位10名)

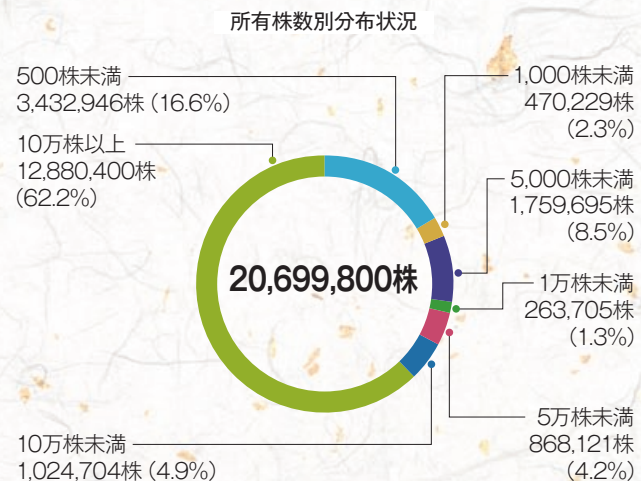
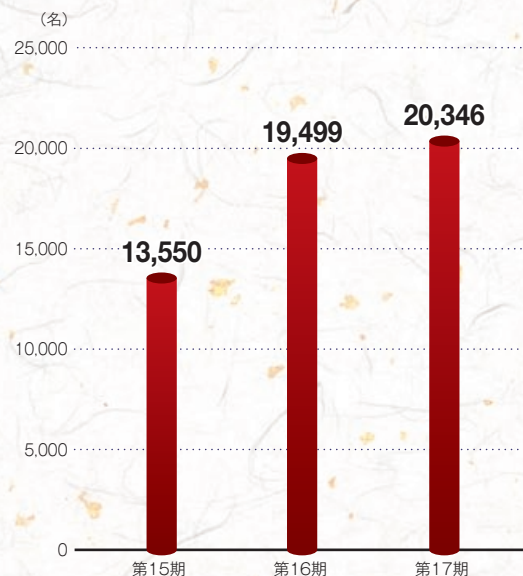
| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|--|-----------|---------|
| 株式会社 ウォルナットコーポレーション | 4,759,000 | 22.99 |
| 田 中 信 | 2,311,600 | 11.16 |
| 田 中 邦 彦 | 2,175,600 | 10.51 |
| 田 中 節 子 | 1,034,800 | 4.99 |
| BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND | 550,000 | 2.65 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 472,200 | 2.28 |
| くらコーポレーション従業員持株会 | 391,700 | 1.89 |
| 日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 279,600 | 1.35 |
| 日本スタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・株式会社紀陽銀行口) | 192,000 | 0.92 |
| BBH BOSTON FOR NOMURA JAPAN SMALLER CAPITALIZATION FUND 620065 | 150,300 | 0.72 |

注) 持株比率については、小数点以下第3位を切り捨てて表示しております。

◆株式分布状況



◆株主数の推移



会社の概要 (平成24年10月31日現在)

- ◆商号 株式会社くらコーポレーション
- ◆創業 昭和52年5月
- ◆会社設立 平成7年11月
- ◆代表者 代表取締役社長 田中 邦彦
- ◆売上高 789億円 (平成24年10月期)
- ◆従業員数 979名 (アルバイト・パート 8,392名) 1人1日8時間換算
- ◆事業所
 - 本社 / 大阪府堺市中区深阪1035番地2
 - 大阪狭山事務所 / 大阪府大阪狭山市今熊1丁目550番地の4
 - 埼玉事務所 / 埼玉県日高市馬引沢345番1
 - 中野事務所 / 東京都中野区中野3丁目33番3号 インツ中野ビル3階
 - 梅田事務所 / 大阪府大阪市北区梅田1丁目11番4号 大阪駅前第4ビル 17階8-1
 - 大阪狭山研修センター / 大阪府大阪狭山市今熊1丁目554番地の1
 - 大阪センター / 大阪府堺市中区深阪1035番地2
 - 埼玉センター / 埼玉県日高市馬引沢345番1
 - 福岡センター / 福岡県糟屋郡宇美町ゆりが丘2丁目14番1-1号
 - 店舗 / 西日本地区：197店 東日本地区：111店
 - 総計308店

- ◆取引銀行 三菱東京UFJ銀行、紀陽銀行、三井住友銀行、みずほ銀行、京都銀行

- ◆役員

| | | | |
|---------|-------|-------|--------|
| 代表取締役社長 | 田中 邦彦 | 取締役 | 久宗 裕行 |
| 取締役 | 伊藤 敬人 | 取締役 | 三田村 隆夫 |
| 取締役 | 葛木 啓之 | 常勤監査役 | 河野 好行 |
| 取締役 | 亀井 学 | 監査役 | 中野 正信 |
| 取締役 | 田中 節子 | 監査役 | 大田口 宏 |

注1) 役員につきましては、平成25年1月29日現在であります。
注2) 監査役は3名全員が社外監査役であります。



ホームページのご案内

<http://www.kura-corpo.co.jp>

フェア開催等最新情報をご案内しております。



石津店夕景 (平成24年6月)

